



資料提供先：鳥取県政記者会、倉吉記者クラブ、米子市政記者クラブ、島根県政記者会

土砂災害に備えて操作説明会を実施

～遠隔操縦装置（バックホウ用）の操作説明会を行います～

倉吉河川国道事務所では、災害応急対策機械としてオペレータが安全に作業できる遠隔操縦装置を保有しています。

土砂災害発生時の復旧用機械の操作説明会を災害応急対策活動協定業者に行います。

■日時・場所

- 平成27年8月27日（木）9：00～16：30 26社（42名）
- 平成27年8月28日（金）9：00～12：00 11社（19名）
- 鳥取県倉吉市福守町^{とっとりけんくらよししふくもりちょう}415-2（天神川河川防災ステーション）（別図参照）

■説明会概要

➤対象機械

- ・遠隔操縦装置（バックホウ用）1台

遠隔操縦装置とは、市販のバックホウの運転席にロボットを搭載し、離れた場所からそのロボットを介してバックホウを運転・操作するものです。

これにより土砂災害の復旧作業時にオペレータの安全を確保することができます。

➤参加者

- ・鳥取河川国道、倉吉河川国道、日野川河川、松江国道、出雲河川、浜田河川国道、岡山河川事務所 災害応急対策活動協定業者 36社（61名）

【問い合わせ先】

国土交通省中国地方整備局

倉吉河川国道事務所

TEL（0858）26-6221（代表）

副所長（河川）

川上 暁洋（かわかみ あきひろ）

【担当】

道路管理課長

亀井 久勝（かめい ひさかつ）

【広報担当窓口】

調査設計第二課長 小田 嘉幸（おだ よしゆき）

倉吉河川国道事務所ホームページアドレス：<http://www.cgr.mlit.go.jp/kurayoshi/>

遠隔操縦装置（バックホウ用）

危険な場所でも
安全で迅速な作業ができます。



一般に
使われている
油圧ショベルに
取り付け、
動かすことが
できます。

ヘッドマウント
ディスプレイ
(現場の映像が
眼前に)

モニタ
カメラ

安全な場所から
遠隔操縦

約150m

遠隔操縦

装置

油圧ショベルのレバー操作と同じなので、
資格を持っている人なら操縦は簡単。

平成26年度 遠隔操縦装置(バックホウ用)の操作説明会実施状況



使用するバックホウ(全景)



オペレータによる遠隔操作状況



遠隔操縦装置ロボット搭載状況



車上搭載ロボットカメラ受信画面



オペレータによる近距離での操作状況

天神川河川防災ステーション位置図



出典: 国土地理院(電子国土web)より